

令和7年6月

富山市議会定例会

市長提案理由説明要旨

令和7年6月市議会定例会の開会に当たり、提出いたしました案件の概要等について申し上げます。

(はじめに)

はじめに、去る5月4日から12日にかけてのアメリカ合衆国訪問について申し上げます。

まず、5月5日に、アメリカ・ワシントンD. C. の世界銀行本部で開催された「土地カンファレンス」に参加し、人口減少や超高齢社会の進行を見据えた、本市のコンパクトシティ政策、そして、スマートシティ政策に関する取組を発表してまいりました。

今回、このような機会を頂いたことは、誠に光栄なことであり、本市の国際的な評価や認知度をさらに高める大変意義深い場になったと受けとめております。

また、5月10日には、ニューヨーク市で開催された、「ジャパンパレード&ストリートフェア 2025」に参加してまいりました。当日は、沿道に大変多くの方がお集まりの中、越中八尾おわら保存会による「越中おわら」の演舞を披露し、本市を代表する伝統芸能の魅力を、直接現地の皆様に感じて頂くとともに、パンフレットやノベルティの配

布による観光PRなどを実施しました。私自身も甲冑の出で立ちでパレードに参加し、大いに本市をPRしてきたところであり、お集まりになった方々の反応から、本市に関心を持って頂いたと、強い手ごたえを感じ、さらに多くの外国の方々に訪れてもらえるものと確信したところでもあります。

なお、この度の訪問では、ニューヨーク富山県人会、ワシントン富山県人会、在ニューヨーク日本国総領事館の皆様をはじめ、関係各所の方々に多大なるご協力を賜りましたことに改めて感謝申し上げますとともに、今後も交流が続きますことを期待しております。

次に、人口減少・少子化対策庁内検討会議について申し上げます。

我が国で加速する人口減少と少子高齢化は、本市においても例外ではなく、様々な分野の人手不足が深刻になるなど、社会経済活動や市民生活に重大な影響を及ぼし、地域コミュニティや本市の政策の柱を支える公共交通の維持といった様々な課題が生じております。

このため、引き続き、「子育て日本一とやま」を目指した子育て支援の充実に努めるとともに、婚姻数を増やし、出生数の増加につなげ、さらには、移住による人口の社会増や関係人口の増加につながる施策に、積極的に取り組んでいかなければならないものと考えております。

こうしたことから、今後は、全部局が政策の方向性を共有し、一枚

岩となって、大局的に施策を展開していく必要があると考え、この度、政策監を座長として、関係部局長で構成する「人口減少・少子化対策庁内検討会議」を5月1日付で設置したところであります。

この検討会議では、本市の人口減少・少子化対策の現状や課題の整理、有効な対応策の検討などを行っていくこととしており、加えて、中堅職員で構成する部局横断の「人口減少・少子化対策ワーキンググループ」を設置し、特に重要な課題、また、具体的な施策や事業について検討を進めてまいります。

(提出案件について)

次に、提出いたしました案件について、その概要を申し上げます。

(1 予算案件について)

予算案件については、当初予算に計上せず、市長選挙後の補正予算で対応することとした、いわゆる「肉付け予算」や、インバウンド対策関連などの補正を行うものであり、一般会計では34億2,900万余円を追加するものであります。また、特別会計では、企業団地造成事業において、10億1,600万余円、水道事業などの企業会計では、1億5,600万余円を追加するものであります。

次に、歳出予算の主な内容について申し上げます。

(①「肉付け予算」関連)

まず、「肉付け予算」の事業につきましては、郊外部における諸課題をデジタル技術の導入等によって解決し、地域コミュニティの活性化を目指す、スマートシティ先導的モデル事業に係る経費や、市内の小学校6年生にICカード乗車券を配布し、実際に公共交通を利用して市内を巡ることで地域特性を理解し、シビックプライドを育む、アオハルライドパス事業に要する経費、幼稚園や保育所において、各園の裁量で保育備品等を購入できるようにするための経費などを計上しております。

(②インバウンド対策関連)

次に、インバウンド対策関連の事業につきましては、おわら風の盆行事運営委員会に対する補助金や、富山駅及び城址公園周辺の景観を向上するための経費などを計上しております。

(③令和6年能登半島地震関連)

次に、令和6年能登半島地震関連として、旧森家住宅の主屋の耐震補強に要する経費を計上しております。

(④合併 20 周年記念事業)

次に、合併 20 周年記念事業として、旧市町村に伝わる伝統芸能を披露するイベントに要する経費などを計上しております。

(⑤国・県等の追加承認に伴うもの)

次に、国・県等の追加承認に伴うものとして、地区の集会施設の建設を支援する経費などを計上しております。

(⑥その他の事業)

その他の事業といたしましては、定額減税についての不足額を給付する経費や、新型コロナウイルスワクチンの定期接種に要する経費などを計上しております。

(⑦特別会計)

特別会計では、企業団地造成事業特別会計において、金屋企業団地の土地売払いに伴う繰出金などを計上しております。

(⑧企業会計)

企業会計では、水道事業会計及び公共下水道事業会計において、料金改定を周知するための広報やシステム改修に要する経費、病院事業

会計において、陣痛室、分娩室、回復室が一体となったLDR室の整備に要する経費などを計上しております。

以上が歳出のあらましですが、これらに要する財源として、一般会計では、事業に伴う国・県支出金及び地方債、繰越金などを充てております。また、特別会計では、財産収入など、企業会計では、企業債などを充てております。

次に、継続費及び債務負担行為について申し上げます。

まず、継続費については、一般会計において、旧森家住宅主屋耐震補強工事について、病院事業会計では、市民病院施設整備事業費について、それぞれ追加するものであります。

債務負担行為については、病院事業会計において、市民病院の医療機器整備について限度額を設定するものであります。

(2 その他の案件)

次に、予算以外の案件について申し上げます。

まず、条例案件については、「富山市駐車場条例の一部を改正する条例」を制定するものなど10件であります。

契約案件については、富山市芸術文化ホール（大ホール）特定天井

改修及び大規模改修工事の請負契約を締結するものなど3件であります。

その他の案件については、辺地に係る総合整備計画の変更に関する件など2件であります。

報告案件については、専決処分について報告するもの1件、令和6年度の予算を翌年度に繰り越して執行することについての報告8件、債権放棄の報告1件、株式会社富山市民プラザなど、市の出資法人について経営状況を報告するもの18件であります。

(令和6年度決算見込みについて)

なお、この機会に令和6年度の決算見込みについて、ご報告申し上げます。

各会計の決算については現在調製中ではありますが、一般会計の決算では、実質収支で剰余金が生じる見込みであります。

また、特別会計におきましても、若干の剰余金が生じる見込みであります。

企業会計におきましては、収益的収支では、水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業では利益が生じる見込みであります。また、病院事業では損失が生じる見込みであります。

また、資本的収支では、全ての企業会計において資金不足が見込ま

れますが、これについては、内部留保資金などで補填することとして
おります。

以上が、今回提出いたしました案件の概要であります。ご審議の上、
議決を賜りますよう、お願い申し上げます。